

【国指定重要無形民俗文化財・日本ユネスコ協会連盟未来遺産】

平成31年2月11日(月・祝) しゅじょうおにえ

六郷満山 天念寺修正鬼会



六郷満山に千年前より伝わる大宗教典儀である。

毎年正月初めに国家安穩、万民快樂(げらく)、五穀豊饒を祈念する行事である。顕密一致の大法要であるとともに、大衆も参加できる楽しい庶民的行事で、各地にもある修正会の行事とはかなり趣きを異にしている。

六郷満山では修正会の厳しい儀式とともに、鈴鬼や荒鬼等の仏の化身が登場して、謹行(ごんぎょう)と立役(たちやく)とが組み合わされている。

しかも「オハヤシカタ」と称する楽隊が奏する音律が経文の中にとりいれられ、いとも荘重である。同時に火の祭りでもある。神前本堂前に供

える大松明(たいまつ)は長さ5メートルもあり、荒鬼は火のついた短い松明をもって参詣者を叩き廻って御祈禱をする。古来より行事は徹夜で行われてきたが、最近は昼間に勤行をすまし、夜になって立役が始まる。天念寺修正鬼会は、昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定されている。

修正鬼会-次第-

時刻	行法	内容	時刻	行法	内容
15:00~	昼の勤行				
19:00~	こうり 垢離取り	川中不動前の川中で荒鬼、災払い鬼役の僧と、テイレシ(介錯)が身を清めます。		こうずい 香水	激しい法舞を行い、仁聞聖者の難行と六郷満山建立の悲願成就を表し、五方龍王の加護により内外清浄のための香水がそそがれることを祈願します。
20:00~	タイアゲ 夜の勤行	大松明三本を講堂前、権現社前、本堂寄りに立てます。夜の勤行が始まります。 		すずおに 鈴鬼	男女の面を付け、鈴、団扇を手に持ち、十種の法舞をおどります。
21:00~	たちやく 立役	一旦僧は退場し、着替え。ここから芸能的な所作となります。	22:00~	さいはら おに あらおに 荒鬼	二鬼が登場！ 初めに災払い鬼(赤鬼)、続いて荒鬼(黒鬼)。
21:10~	まいけ 米華	二名の僧侶が右手に香水棒、左手に米・藁・牛玉杖を載せた膳を持ち、相対して足踏みをします。撒かれた米などは縁起物なので拾いましょう。	23:00~	鬼の目 餅撒き	一番盛り上がるのが、この「鬼の目餅撒き」です。鬼の目と呼ばれる大きな餅を参拝者に向かって投げます。それを拾った人は縁起が良いとされ、こぞって奪い合います。 最後に鬼が松明で参詣者の背中や肩を叩き無病息災を祈願します。 ※火の粉が飛ぶので服装には注意してください 修正導師が鬼を鎮め、鬼退場
	かいぱく 開白	二名の僧侶が諸仏諸天に祈念、香水棒を持ち踊ります。		き ごじゆ 鬼後呪	